



会 議 録

八幡市教育委員会

開 催 日 時	令和5年12月15日（金曜日） 午後3時～午後3時30分	
場 所	本庁舎3階 教育委員会室	
出席委員名	小 橋 秀 生（教育長） 橋 本 陽 生（職務代理者） 佐 野 恵理子	八頭司 めぐみ 狩 野 理恵子
委員を除く 出席者の 職 氏名	部 長 辻 和 彦 参 与 川 中 尚 参 事 渡 邊 晋 こども未来課長 長 尾 忠 行 子育て支援課長 成 田 孝 一 学校教育課長 家 村 聡 一	文化財課長 田 制 亜紀子 教育支援センター所長 安 達 里 香 教育集会所館長 山 中 友 順 図書館長 小 坂 富美子 生涯学習課長 辻 博 之 こども未来課 加 川 美 和

1. 開 会

2. 報 告 事 項

- (1) 市議会第4回定例会への請願について (こども未来部長) ※資料1
- (2) 2023八幡市民マラソン大会参加状況について (生涯学習課) ※資料2
- (3) 第二回松花堂昭乗イラストコンテスト応募状況について (生涯学習課) ※資料3

3. 議 題（協議事項）

- (1) 八幡市公の施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する
条例（案）について (子育て支援課) ※資料4

4. その他

- ・ 園・学校訪問について

5. 配付資料

- ・ 11月分議事録（写し）

5. 閉 会

※次回定例教育委員会

日時：1月23日（火）午後3時から

場所：庁舎3階 教育委員会室

※学校訪問先

有都こども園（10：00）

八幡小学校（11：30）



	内 容
[教 育 長]	<p>1. 開 会 それでは、令和5年12月度の定例教育委員会を開催いたします。</p> <p>2. 報告事項をお願いします。報告事項(1)「市議会第4回定例会への請願について」、事務局より報告願います。こども未来部長。</p> <p>2. 報 告 事 項 (1) 市議会第4回定例会への請願について</p>
[辻 部 長]	<p>市議会への請願についてご説明させていただきます。資料をご覧ください。市議会に提出されているもので、こども未来部に関係する請願は2件ございます。資料1-1は「学校給食費の無償化を求める意見書の提出」に関する請願で、先月11月28日の文教厚生常任委員会で審査され、現在のところ継続審査となっています。資料1-2は、「子育てを応援し、子どもたちにゆきとどいた教育を求める請願」です。請願事項は、具体的には裏面の1から4までございますけれども、そのうち3学校給食費の無償化と4教職員の配置、この2点がこども未来部の関係する内容となっております。</p> <p>二つの請願は、12月20日水曜日文教厚生常任委員会で審査され委員会の採決が行われる予定でございます。その後25日の本会議最終日に委員長が報告し、本会議で採決が行われる運びでございます。以上です。</p>
[教 育 長]	<p>ただ今の報告事項につきまして、委員よりご質問等はございませんか。</p> <p>次に、(2)「2023八幡市民マラソン大会参加状況について」、事務局より報告願います。生涯学習課。</p>
[辻 課 長]	<p>(2) 2023八幡市民マラソン大会参加状況について</p> <p>2023八幡市民マラソン大会参加状況についてご報告をいたします。おそれいりますが、資料2をご覧くださいたく存じます。</p> <p>12月3日日曜日八幡市民スポーツ公園を発着点として、マラソン大会が行われました。今年は北京オリンピックなどに出場され、現在は摂南大学陸上部コーチを務めておられる竹澤健介(たけざわ けんすけ)氏をゲストランナーとして迎え、開催したところでございます。当日は、2キロ・3キロ・10キロ・ハーフの4種目15部門に1331人の参加があり、無事に大会を終えることが出来ました。以上、報告いたします。</p>
[教 育 長]	<p>ただ今の報告事項につきまして、委員よりご質問等はございませんか。</p>
[狩 野 委 員]	<p>本当にお疲れさまでした。寄せていただいて、大盛況でとても感動しました。市内の方はもちろん市外からもすごくたくさんさんの参加があり、去年とまた違ってマラソン自体が他市町では下火になってきている中、八幡市はこれだけたくさんの方の注目を浴びて参加者が多かったのはひとえに事務局の頑張りだと思いますので、本当にいい大会だったと思います。どうもありがとうございました。</p>
[教 育 長]	<p>他にご質問等はございませんか。</p>
[橋 本 委 員]	<p>やはりこういう行事は天候次第だなと思います。当日は本当に素晴らしい天気で、願ってもない気温の中で実施されました。これは主催者の日頃の努力のおかげかなと。天気の方も応援してくれているんだなと思いながら拝見いたしました。非常に和やかで、行事を準備された方々のご努力に本当に頭が下がる次第です。コロナ等で空白があり実施が危ぶまれる中、無事に開催でき改めて関係各位に御礼を申し上げます。ご苦労様でした。</p>
[辻 課 長]	<p>昨年と比較しますと108人増加し、今回竹澤選手ほかキッチンカーを初めて導入し、参加者から喜びの声をお伺いすることができましたので、今後この参加人数をキープできるよう頑張ってまいります。</p>
[教 育 長]	<p>他にご質問等はございませんか。</p>
[佐 野 委 員]	<p>本当にお疲れ様でした。参加人数が本当だったらいつも2割方欠席が、それ以上の参加があったのはすごく喜ばしいことだと思いました。新しい試みのキッチンカーも手配がなかなかいかない中、事務局の方が一所懸命手配していただいて多数の出店があったり、何より天候にも恵まれた上に摂南大学の学生さんがタイムのペースメーカーとして10人ぐらいご協</p>



	<p>力いていました。ハーフのところに入ってらっしゃった方が風船を上から見せて走ったりしていたので、分かりやすく良かったという声を何人かゴールしてから聞きました。</p> <p>時代があって速さではなく健康で走りたいという方も増えてきたなど今回実感して思ったのと、たくさんの親子の方に参加していただいて今年は親子手を離れてゴールすることなく無事にできていて、アットホームなところと市外の方が来られるようなハーフとか10キロのちょっとしたハードなレースと両方を持ち合わせた八幡市民マラソンの良い所が今年をよく出たと思います。協力しながらも事務局の方がすごく努力していただいたので、本当にありがとうございました。また来年もよろしくお願いいたします。</p>
[辻 課 長]	まさか八幡市民マラソンでペースメーカーに出会うとは思っていなかったと、参加者の皆さん驚きを隠せないようでした。この日は川田市長も走られまして、初めは最後までいけるかなと心配されていましたが無事に完走されました。
[教 育 長]	次に(3)「第二回松花堂昭乗イラストコンテスト応募状況について」、事務局より報告願います。生涯学習課。
[辻 課 長]	(3) 第二回松花堂昭乗イラストコンテスト応募状況について 第二回松花堂昭乗イラストコンテスト応募状況についてご報告いたします。資料3をご覧ください。
[教 育 長]	「未来」をテーマに本年7月3日から11月15日まで作品を募集し、その総数が出ましたのでご報告いたします。応募総数は588通で、内訳は小学生の部308通、中学生の部197通、高校生の部83通であります。12月16日に審査員4人による選考会を行い、12月下旬には受賞作品が決定する予定です。2月3日に八幡市役所にて授賞式を開催し、2月5日から4月19日まで八幡市役所にて作品展を実施する予定でございます。以上、報告いたします。
[教 育 長]	ただ今の報告事項につきまして、委員よりご質問等はございませんか。無いようでありますので、これにて報告事項を終結いたします。次に3. 議題に入らせていただきます。(1)「八幡市公の施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例(案)について」、を議題といたします。事務局より説明願います。子育て支援課
[成 田 課 長]	3. 議 題 (協議事項) (1) 八幡市公の施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例(案)について 八幡市公の施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例案につきまして、その内容をご説明申し上げます。資料4をご覧ください。
[教 育 長]	本件は、公の施設の再編に伴いまして、八幡市公の施設の設置及び管理に関する条例を改正する必要がございますため、本条例を提案するものでございます。その内容は、令和3年10月に策定した「八幡市立就学前施設再編の基本方針」を踏まえ、1施設当たりの適正な園児数の確保及び職員体制の充実等を図るため、就学前施設を再編するもので、八幡幼稚園及びみその保育園を廃止し、両園を統合した「八幡市立やわたこども園」を新たに設置いたしますとともに、八幡第三幼稚園に八幡第二幼稚園及び八幡第四幼稚園を統合し、名称を「八幡市立さくら幼稚園」に改めるものでございます。
[教 育 長]	以上のおりでございますので、よろしくご審議をいただきまして、ご可決賜りますようお願い申し上げます。
[狩 野 委 員]	ただ今の説明につきまして委員よりご意見ご質問等はございませんか。
[成 田 課 長]	公立幼稚園がどんどん応募が少なくなってきて寂しいところです。次年度八幡市立さくら幼稚園に変わるとのことですが、現時点で園児数はどのようになっていますでしょうか。
[成 田 課 長]	全体的にはおそらく40名程度の園になるのかなと思っています。ただ4、5歳児については15名、18名その程度はありますが、現在のところ3歳児の新規入園は7名になっています。例年の傾向であればこれから2次募集、3次募集がございますのでそこで数名は増えるかなと思っております。
[教 育 長]	他にご質問等はございませんか。無いようでありますので、議題(1)についてお諮りいたします。議題(1)について、原案のとおり可決することに異議ありませんか。



[全 委 員] [教 育 長]	<p>異議なし。</p> <p>それでは異議なしと認め、議題（１）「八幡市公の施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例（案）について」は原案のとおり決定します。これにて、議題を終結いたします。</p> <p>次に４．その他に入らせていただきます。本日の「園・学校訪問について」のご意見はございますでしょうか。</p> <p>４．その他</p>
[狩 野 委 員]	<p>本日は男山第二中学校と中央小学校に寄せていただきました。どちらの学校も校長先生のご配慮の中ですごく校内が綺麗だったというのが印象的でした。教育環境を校長先生が中心になって整えていかれるということが、学校内の落ち着きと影響するんだなということを感じました。中央小学校も幼児期からの積み上げかなと思いますが、基本的な生活習慣と言いますか授業に向かう姿勢だったり、持ち物の始末をきちんとするといったところが整っていて、校長先生はUDを進めていらっしゃるのその積み上げだとおっしゃってましたけれど、幼児期からきちっと自分の環境を整えるという子どもの姿勢を１年生からもう一度やり直して６年生まで教室の中を整えていくというような心がけをされているのは、学びに向かう姿勢に大きく影響するんじゃないかなと思いました。</p> <p>今年度の４月入学当初に個人的に中央小学校の１年生の様子を見させていただいて、その時に先生が信頼関係を作っていこうということで、一所懸命子どもに全身を使って向かわれていたと思います。その成果が今日寄せていただいて目の当たりに感じました。本当に先生の話聞く時はさっと静かになって、授業に向かう姿勢ができているなということを感じ、小さなことをコツコツと積み上げていくという事の大事さをつぶさに感じた次第です。</p> <p>男山第二中学校の方も随分落ちついて授業に向かい、学年が進むごとに落ち着いていったのかなと思います。特に男山第二中学校の１年・２年・３年生は、私は幼児期に関わらせてもらったお子さんがおります。少し家庭環境的にもしんどいなと思った学年は、やはりその影響が若干残っているということで、本当に幼小中と連携していくことがものすごく大事なんだなと感じたところです。子どもだけではなく保護者も含めて支援していくことの大事さを本日改めて感じました。</p> <p>それともう１点。中央小学校で校長先生が案じてらっしゃったのが、いましてすごく落ち着いているんですが、今後また色々な影響を受けて子どもがどこでどんな風に変容していくかわからないという様なおっしゃってましたので、ぜひ今の体制、チームになって先生方が子どもにも保護者にも向かってらっしゃるんだなということを感じましたので、今後も引き続きその体制を大事にしながら、子どもたちが健やかに育つようにバックアップしていただけたらなと切に願います。</p>
[教 育 長] [橋 本 委 員]	<p>他にご質問等はございませんか。</p> <p>私も一言だけ感想を申し上げたいと思います。コロナ禍色々な事があった中においても、私が教育委員になってから年々安定的にどの学校を訪問させていただいても落ち着いて学習に向かえるような、突拍子もないようなことが起こらない学校環境になってきていると思います。これは教育委員会を始め先生方のご努力によるものだと思いますが、そうした中で市長がおっしゃる学力向上云々と強調しながらも結果的にそこに結びつけられていないのが永遠の課題であり、なかなか進まないところに毎回訪問させていただきながら重たい責任みたいなものを感じているところです。今年度も終わろうとしており総括的なこともやられるかと思いますが、また委員会の方でも新たな方向に一步進めるような、そういう取り組みたいなものがもしできるのであれば、ぜひ思い切ったものを提示していただけたらと感じている次第であります。</p> <p>一方安定性の中の危惧ということで、中央小学校の校長先生は今年度で終わられると聞いております。校長先生のキャリアと言うのでしょうか人物と言うのでしょうか、こういったものが地域・保護者・子ども・先生方をまとめていくことに繋がっていて、人間関係作りあるいは人づくりというのでしょうか、この辺りについてはなかなか数値的には表れませんが</p>



れども、非常に良い教育をされておられます。一つ歯車が狂うとまた元通りにすぐ戻ってしまうという危惧も常に持っているとおっしゃっておられました。私が何を言いたいかと言いますと、今までは校長先生を始め色々な方のご努力で今も安定的なものをまもられてきておりますけれど、早稲田大学の田中先生のご指導やベネッセの素晴らしいまとめができる、あるいはモデル校として色々な学校が見学に来られる中で、子どもたちも先生方も誇りに思い、かなりバックアップされている部分が多いかと思えます。こういう風なものが校長先生を始め一挙に引いてしまった時に、果たして今のようなものが維持できるんだろうかと、一抹の不安を感じているところです。ぜひ形は変われど中央小学校に色々なプロジェクト、或いは指定校、開発何とか校という何かそういうものを与えつつ、より誇りをもって継続できるようなそういう支援が引き続き必要なと特に次年度については感じています。

男山第二中学校の方を訪問させていただいて、校長先生が朝早くから掃除をし、子どもたちに声掛けをし、働き方改革に逆行するような努力をしていると校長先生自身おっしゃっていました。私なんかから見るとやはりそうせざるを得ないのでしょうね。学校の現場を見るとそこまでしないとなかなか預かる者として落ち着かないと逆に感じます。この辺りはなかなか難しいことではありますけれど、学力向上と共に結び付くような働き方改革等が進むような方向も落ち着いてきた以上、一歩進められるようなそういう方向が次年度進められたらなと思えます。

[教育長]

他にご質問等はございませんか。

[狩野委員]

本日の学校訪問ではないんですけれど、11月22日に行われました橋本幼稚園の公開保育について感想等述べさせていただきたいと思えます。小規模で園児数がとても少ない中、それをプラスにとって子ども一人ひとりを大切にされて、支援の必要なお子さんも仲間の一員として受け入れて温かい保育をされているというところに大変感動しました。子どもたちも主体的に自らの遊びを選択して、自分が好き勝手にするのではなく友達と一緒にやっという姿勢が終始あったかなと思っております。本当に公立幼稚園として丁寧な保育をして子どもを育てようということで、職員の先生方が力を合わせて頑張ってる部分を今後も子育て支援課として応援していただけたらと切に願っております。この時に川中参与が指導講評をしてくださった内容が、大変勉強になったかなと思えます。本当に温かい雰囲気の中で保育が進んでおりましたので、その子たちが困り感とか負の感情を経験するということが少ないのではないかということで、川中参与が『感情の輪』ということをご提案いただいて、それを園の先生も真剣に受け止めて少ない人数の中でも色々な経験ができるよということで、研究を進められている点がすごく良かったかなと思えます。私も勉強させていただいて、また自分の立場として他の市町の小規模の園にも使わせていただこうかなと思って、私自身が学ばせてもらった大きな学びを得た公開保育だったと思えます。

来年度は幼稚園としては橋本幼稚園とさくら幼稚園とで、小規模になっても地域の幼児教育をしっかりと発信する場として今後さらに一人ひとりの子どもの命をアピールしながら、前向きに頑張ってもらえたらなと切に願っております。今後ともいろいろとサポート体制をお願いしたいなと思っております。

[教育長]

他にご質問等はございませんか。

[橋本委員]

私も11月22日の橋本幼稚園の研究発表を見学させていただきました。あまりに規模が大きいと支障が生じますので無理かと思えます。この時もそうおっしゃってて今回は小さい範囲でということでしたが、研究発表の時には小学校の先生や保育園の先生等に見に来ていただきたい。保幼小連携を進めていくということになると、私も現場で育った人間ですので現場を見て共有したものから自分の教育観・指導観、いろいろな違いの部分をぶつけ合う中で初めて意味が分かる、理解できる。こういうのが教育の肝であると思えます。なかなか環境が難しかったようですが、ぜひ小学校の場合も幼稚園の先生に来ていただいたり、保育園の場合も小学校の先生が入っていただけるような、そういう交流の場や具体的なものを幼児を目の前にして語り合う交流を少し進められるように、そういう機会があればなと思えますのでよろしく願います。研修の後に素晴らしいまとめが必ずあるというのが研修の意味



[教 育 長]	を何倍にも大きくするものだと感じております。今後ともよろしくご指導お願いします。 他にご質問等はありませんか。ないようでありますので、次に5. 配付資料について、事務局より説明願います。こども未来課。
[長 尾 課 長]	5. 配布資料 本日の配付資料です。11月分議事録の写しときょうとふの教育 No.154をお届けしております。
[教 育 長]	次回定例教育委員会日程につきまして、事務局から説明願います。こども未来課。
[長 尾 課 長]	次回の教育委員会の日程でございます。1月23日火曜日午後3時から庁舎3階の教育委員会室で行います。学校訪問につきましては、10時から有都こども園、11時30分から八幡小学校でございます。以上です。
[教 育 長]	5. 閉 会 他に何かご質問等ございますか。それでは、以上をもちまして12月度の定例教育委員会を閉会させていただきます。どうもありがとうございました。

令和5年八幡市議会第3回定例会
請 願 文 書 表

受理年月日	令和5年10月6日	受理番号	第3号
請願者 住所・氏名	京都府八幡市八幡福祿谷144-8 八幡市子どもと教育・文化を守る会 代表 中村秀雄		
件 名	「学校給食費の無償化を求める意見書の提出」に関する請願		
紹介議員	澤村純子		

請願趣旨

憲法は第26条で、義務教育の無償を定めています。しかし実際には、教材費、制服、体操着、学用品、給食費、修学旅行積立金などを家庭が負担しており、中でも2018年度学校給食実施状況等調査では全国平均で小学校が年間に4万7773円、中学校が5万4351円と給食費の負担が最も大きくなっています。

当初は自己負担が求められていた教科書については、教科書無償措置法等により無償化されました。学校給食費についても、義務教育段階においては教科書と同様に無償化させ、家計負担を軽減させる必要があります。

文部科学省の事務次官通達では、食材費の負担を必ずしも保護者に求めなくてもよい旨が記載され、政府も国会で、義務教育の無償化をできるだけ早く広範囲に実現したいということ、学用品、学校給食費、できれば交通費も無償対象にとの答弁を行っています。

家庭の経済的負担に鑑み、給食費負担の軽減に踏み出した自治体の数は2017年度「学校給食費の無償化等の実施状況」及び「完全給食の実施状況」の調査結果では、1740自治体のうち、小中学校とも無償化が76自治体、それ以外の一部無償化・補助を実施しているのが430自治体、合わせて506自治体となっていますが、それ以降の数年間で大きく広がり、現在完全無償化に限っても小中学校とも無償化が515自治体、小学校のみが12自治体、中学校のみが19自治体の合計546自治体に上っています（岡崎利夫氏の調査による）。東京都23区では18区が、県庁所在地では青森市、大阪市、奈良市、高松市、那覇市が小中とも無償です。この流れを促進させるためには、国の自治体へのさらなる支援が不可欠です。

2005年に食育基本法が制定されたことにより、学校給食法が大きく改正され、食育推進のための学校給食が学校教育の重要な柱とされており、その充実をはかることが求められています。学校給食費無償化は、学校給食法に規定されている「学校給食の普及充実及び学校における食育の推進」にも寄与するものです。

加えて、急激な物価高騰や新型コロナウイルス感染症による家計への影響などで、家庭の経済的負担を軽減する必要性は高まっています。子どもの心身の健全な発達に直結する学校給食は、様々な環境の変化が生じて、確実に維持されなければならない重要な施策です。

八幡市議会は昨年12月に「学校給食費の無償化」を求める請願を全会一致で採択した先進的な議会です。その八幡市議会の意志として、国会及び政府に対し、国の責任において学校給食費無償化を推進するために、一層の自治体への支援を行うことを強く求める意見書を提出していただけますようお願いいたします。

請願項目

1. 国会及び政府に対し、国の責任において学校給食費無償化を推進するために、一層の自治体への支援を行うことを強く求める意見書を提出してください。

令和5年八幡市議会第4回定例会
請 願 文 書 表

受理年月日	令和5年12月4日	受理番号	第4号
請願者 住所・氏名	京都府八幡市八幡福祿谷144-8 八幡市子どもと教育・文化を守る会 代表 中村秀雄 他1,035名		
件名	「子育てを応援し、子どもたちにゆきとどいた教育を求める」請願		
紹介議員	巖 博		

請願趣旨

*八幡市で「週1日(金曜夜～土曜朝)」の夜間小児救急が開始されてから10年が経過しましたが、他の曜日は田辺中央病院か宇治徳洲会病院に行かざるを得ない状況が続いています。

子どもの急な発熱や異変の際に、近くに頼れる医療機関があってほしいというのは市民の切実な願いです。市内での診療日を増やすために、八幡市として積極的に京都府や関係機関に働きかけ、実現への道を開いてください。

夜間救急は往復にタクシーを使わなければならないケースが生まれます。市外の診療に頼らざるを得ない当市において、交通費の負担をなくすことはせめてもの配慮ではないでしょうか。タクシー利用への補助制度をつくってください。

子どもの命と健康を守るために、特段の努力を求めます。

*昨年の請願採択を受けて高校卒業までの入院費が無償化されました。子どもの医療費無料化は八幡市が先駆けとなり、近隣市町村でも通院費を含む無料化が進んできています。通院費の無料化を児童福祉法に謳う児童の年齢である「高校卒業まで」に拡充し、文字通り「子どもの医療費の無償化」を実現することは「八幡での子育て」に一層の希望をもたらす施策となります。先駆けが「遅れた自治体」にならないよう決断を望みます。

*物価の高騰、コロナ禍が、保護者の営業や雇用を直撃し子どもの就学にも大きな影響を及ぼしています。そうした中、保護者にとって教育費が大きな負担となっています。中でも学校給食費は、義務教育にかかる費用の中で最も重い負担となっています。八幡市では中止はされたものの、今年4月から食材費の高騰による値上げを実施しようとしていました。今後もさらなる負担増が懸念されます。

憲法第26条は「義務教育はこれを無償とする」と明記しています。学校では学校給食法第2条に定める学校給食の目標の達成に向け、給食を通じた食育が行われてきました。食育という教育を行うのに必要不可欠である学校給食費についても、教科書と同様に無償とするのが本来の姿ではないでしょうか。全国的に自治体による給食費の無償化がさらに広がってきています。府内では伊根町、笠置町、南山城村、和束町、井手町で完全無償化が実現、限定的な無償化も実施されています。

八幡市でも給食費無償化の実現によって義務教育費の負担軽減・無償化へ向けての大きな一歩を進めてください。

*「新学期なのに担任がいらない」「年度途中で休退職した教員の後任が見つからない」など、全国的に「教員不足」がかつてなく深刻な問題になっています。(文科省調査でも2021年4月1日時点で全国の公立学校1897校で、2558人の教員が不足。実態はもっと多いといわれる)この状況は慢性化していて、八幡市内でも起こっています。

根本的に教職員の労働条件・待遇改善と共に教員定数を改善し、正規採用の教員を増やしてゆとりある配置をする必要があります。国・京都府に教員不足が生じないように、教員定数増と正規教員の採用増を求めてください。

また、家庭環境や発達特性からくる困り感を抱える児童・生徒が増えてきています。教員不足や多忙化の中、教職員だけでは十分な対応ができないのが実状です。現場は、日常的に実態を把握することができ、機敏に適切な対応がとれる、常駐のスクールカウンセラー（SC）、スクールソーシャルワーカー（SSW）の各校への配置を求めています。京都府への拡充要求とともに、市としての緊急対策も実施し、学校現場の切実な要求に応じてください。

*本請願の内容は「八幡市子ども条例」の理念の具現化そのものです。子どもたちが人間として大切にされ、憲法と子どもの権利条約が生きて輝くまちをつくるために、八幡市に対し以下のことを請願します。

請願項目

1. 小児夜間救急を拡充してください。
 - ①市内での診療日を増やしてください。
 - ②タクシー利用への補助制度をつくってください。
2. すみやかに入院費だけでなく通院費も高校卒業まで無償にしてください。
3. 学校給食費の無償化を進めてください。
4. 一人ひとりに行き届いた教育を保障するための教職員の配置を進めてください。
 - ①深刻な教員不足を解消するために、教員定数増・正規採用増を国と府に強く求めてください。
 - ②子どもの困難に寄り添えるよう、各校に常駐のスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーを配置してください。

2023八幡市民マラソン大会参加状況について

種目 番号	種目名	申込人数			参加人数		
		申込	八幡	市外	参加	八幡	市外
1	A:ハーフ高校生・一般男子	465	68	397	401	64	337
2	B:ハーフ高校生・一般女子	57	9	48	48	7	41
3	C:10km高校生・一般男子	319	78	241	270	67	203
4	D:10km高校生・一般女子	74	23	51	67	22	45
5	E:3km小学3・4年生男子	114	110	4	106	102	4
6	F:3km小学3・4年生女子	63	61	2	52	50	2
7	G:3km小学5・6年生男子	132	127	5	110	106	4
8	H:3km小学5・6年生女子	37	34	3	34	31	3
9	I:3km中学生男子	54	53	1	41	40	1
10	J:3km中学生女子	30	29	1	18	17	1
11	K:3km高校生・一般男子	30	23	7	25	20	5
12	L:3km高校生・一般女子	18	15	3	15	12	3
13	M:2km親子ペア	92	86	6	73	70	3
14	N:2km小学1・2年生男子	67	66	1	53	52	1
15	O:2km小学1・2年生女子	18	18	0	18	18	0
合計人数		1,570	800	770	1,331	678	653

第二回松花堂昭乗イラストコンテスト応募状況について

番号	部門名	応募数	市内	市外
1	小学生の部	308	254	54
2	中学生の部	197	173	24
3	高校生の部	83	0	83
合計件数		588	427	161

学年内訳		1	2	3	4	5	6
1	小学生	12	8	54	33	91	110
2	中学生	30	159	8			
3	高校生	16	56	11			

テーマ 「未来」

募集期間 令和5年7月3日(月)から11月15日(水)まで

選考会 令和5年12月16日(土)

作品決定 令和5年12月下旬

授賞式 令和6年2月3日(土) 八幡市役所

入賞作品展 令和6年2月5日(月)から4月19日(金)(予定) 八幡市役所

(参考)

第一回松花堂昭乗イラストコンテスト応募状況について テーマ:わくわく

番号	部門名	応募数	市内	市外
1	小学生の部	509	341	168
2	中学生の部	338	137	201
3	高校生の部	254	5	249
合計件数		1,101	483	618

(案)

議案第 76 号

八幡市公の施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例案

令和 5 年 12 月 6 日提出

八幡市長 川 田 翔 子

八幡市公の施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
八幡市公の施設の設置及び管理に関する条例（昭和 39 年八幡市条例第 15 号）の一部を次のように改正する。

別表教育・保育施設の部を次のように改める。

教育・保育施設	八幡市立やわたこども園	八幡市八幡園内 92番地の 1	個別条例に定める額
	八幡市立有都こども園	八幡市内里北ノ 口21番地 4	個別条例に定める額
	八幡市立さくら幼稚園	八幡市男山美桜 17番地	個別条例に定める額
	八幡市立橋本幼稚園	八幡市橋本中ノ 池尻15番地の 1	個別条例に定める額
	八幡市立南ヶ丘保育園	八幡市八幡小松 20番地の12	個別条例に定める額
	八幡市立南ヶ丘第二保育園	八幡市八幡三反 長 9 番地	個別条例に定める額
	八幡市立わかたけ保育園	八幡市男山笹谷 5 番地12	個別条例に定める額

附 則

この条例は、令和 6 年 4 月 1 日から施行する。

説 明 書

公の施設の再編に伴い、八幡市公の施設の設置及び管理に関する条例を改正する必要があるので、本条例を提案するものです。

その内容は、八幡市立就学前施設再編の基本方針を踏まえ、1施設当たりの適正な園児数の確保及び職員体制の充実等を図るため、就学前施設を次のとおり再編しようとするものです。

改正前		改正後	
名称	所在地	名称	所在地
八幡市立八幡幼稚園	八幡市八幡今田38番地	八幡市立やわたこども園	八幡市八幡園内92番地の1
八幡市立みその保育園	八幡市八幡園内92番地の1		
八幡市立八幡第二幼稚園（休園中）	八幡市男山金振9番地	八幡市立さくら幼稚園	八幡市男山美桜17番地
八幡市立八幡第三幼稚園	八幡市男山美桜17番地		
八幡市立八幡第四幼稚園	八幡市男山松里1番地		